

令和4年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(都道府県分) 個票

自治体名

沼田市

(都道府県: 群馬県)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業			
区分	機運醸成の取組			
関連事業メニュー	2.2.3 主に若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組			
個別事業名	未来のライフデザイン啓発事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日	～	令和5年3月31日	事業開始年度 平成28 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	154,000			円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>沼田市では少子化対策の取組として、平成28年度より地域少子化対策重点推進事業を活用し、「未来のライフデザイン啓発事業」(助産師の「いのち」の授業や山形県の取組事例である高校生等のライフデザインセミナーを参考とした中学生・高校生を対象とする講座の開催、子育て支援団体による啓発リーフレットの作成など)を実施し、命を生み育て未来を育むことの大切さの啓発や、主に若い世代が結婚、妊娠、出産、子育て、居住、仕事を含めた将来のライフデザインを希望どおり描けるよう支援する取組など、社会全体で結婚や子育てを応援する機運を高める事業を展開してきた。</p> <p>事業を展開する中で、核家族化、地域との関わり希薄化により、小さな子どもと触れ合う経験が減少し、若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、居住、仕事について具体的にイメージしづらくなっていることが課題となっている。</p> <p>子育て支援団体や青少年団体等の協力により啓発動画を作成するなど、関係者の意識向上も含め市民協働による効果的な事業展開を図る。</p>			
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><個別事業における現状と課題> 少子化対策の取組として、幼児期の子と親を対象とした「助産師さんのいのちの授業」、中学生・高校生を対象としたライフデザイン講座の実施、子育て支援団体との協働により啓発リーフレットを作成し新成人等に配布するなど、命を生み育て未来を育むことの大切さの啓発や、主に若い世代が結婚、妊娠、出産、子育て、居住、仕事を含めた将来のライフデザインを描けるよう支援する取組など事業展開をしてきているが、核家族化、地域との関わり希薄化により、小さな子どもと触れ合う経験が減少し、出会いイベント参加者も含め若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、居住、仕事について具体的にイメージしづらくなっている。また、財政状況が厳しいなか、最小限の費用で最大の効果を上げる事業の展開が課題となっている。</p> <p><課題への対応> 啓発動画は新成人のほか、結婚、妊娠、出産、子育てが身近な出会いイベント参加者にも周知し、啓発効果の拡大を図る。</p> <p><取組内容></p> <p>①啓発動画「ハタチからの参考書ーこれからのじぶんをイメージするー」の作成(154千円) 子育て支援団体及び成人式実行委員会(青少年団体及び新成人代表)の協力により、作成協力者のワークショップとして「子育て中の世代から若い世代へ伝えたいこと」「若い世代の知りたいこと」、「地元で働いている若者からのメッセージ」等をまとめ、若い世代が結婚や出産、子育て、仕事を身近に感じ、それらを含むライフデザインを考えるための情報を提供する内容とする。また、出産経験者や助産師による「出産とキャリア、性に関する知識」等の記事を掲載し、先輩からのアドバイスや医療関係者からの医学的な出産や自分の身体を守るための知識の提供も行う。掲載内容については、男女共同参画の所管課と共同で策定し、多様な生き方があることに配慮するとともに特定の価値観の押し付けとならないよう留意する。</p> <p>若い世代が結婚・妊娠・出産・子育て、居住、仕事について具体的にイメージできるよう、作成した動画は成人式において配布するほか、出会い応援イベント、未婚者向けセミナー参加者等に周知し効果的な啓発を行う。</p> <p>【委託料】前年度実績に基づく 動画作成 動画編集等作業委託料 154,000円 (取材・原稿作成 20,000円 動画編集等 80,000円 協力者謝礼 40,000円 消費税 14,000円)</p> <p>【次年度以降に向けた事業の方向性】 令和4年度に実施した講座の参加者アンケート(講座を受けて「結婚・出産・子育て」を身近に感じるようになったかなど)に基づき、次年度以降の講座内容、効果的な実施方法について検討する。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>【事業実施にあたっての留意点】 本個別事業においては、未来のライフデザイン啓発事業として下記の事業を行う。事業の実施に当たっては、内容が特定の価値観の押し付けやプレッシャーとならないよう男女共同参画部局等の関係部局や有識者等と連携する。</p>			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	出生数(令和7年)	人	300	220
	婚姻数(令和7年)	件	200	153
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	婚姻件数(「令和2年人口動態統計」)	人	153	
	出生数(「令和2年人口動態統計」)	件	220	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	○啓発動画			
	動画についてのデータを入れたUSBを配布した新成人等	人		ち出席者80%を想
	動画の視聴回数	件	1500	1000
	結婚・出産・子育てを身近に感じるようになったと答えた動画作成協力者の割合	%	70	70
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	群馬県が設置する「ぐんま結婚支援連携協議会」に参画し、情報や課題の共有、発信を行う。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間団体との連携によりネットワークを構築し、事業内容の決定に当たっては各団体のアイデアを取り入れ、協働により事業を実施する。 出会い応援イベント等の実施については、ネットワークの構成団体を通して周知するほか、ネットワークが運営するフェイスブックやインスタグラム、市ホームページや広報紙等を活用しPRを行う。			
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無			

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付けを記載すること。
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
- ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。